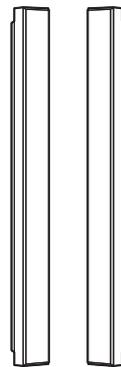


施工説明書

プラズマディスプレイ用スピーカー（業務用）

品番 **TY-SP65P11K**
TY-SP65P11S



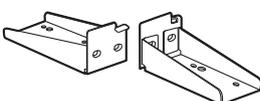
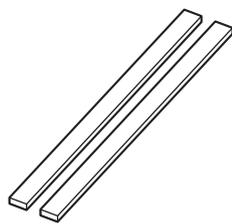
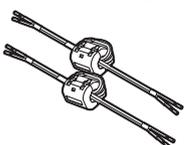
上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックプラズマディスプレイ用スピーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」(2ページ)は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
- 保証書およびこの施工説明書は、必ずお客様にお渡しし、保管をお願いしてください。

付属品（設置、接続の前にまず付属品を確かめてください）

取り付け金具 A 4 コ 	取り付け金具 B (右)..... 2 コ (左)..... 2 コ  右 左	取り付けねじ 16 本 	スポンジ 2 本 	スピーカーコード (長さ 30 cm) 1 本 (長さ 1 m 52 cm) 1 本 
		クランパー ...5 コ (予備あり) 		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

注意

スピーカー取り付け後、スピーカーを持って起こしたり、移動させたりしないでください



スピーカーの取り付け部が破損し、けがの原因となることがあります。

スピーカーにぶらさがらないでください



落下してけがの原因となることがあります。

プラズマディスプレイ用スピーカーです



他のアンプと接続される場合は定格入力(10 W)以内でご使用ください。定格入力を超えると、火災の原因となることがあります。

取り付け時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください



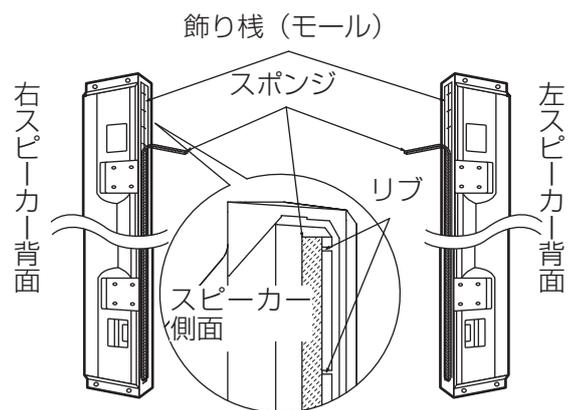
不十分な取り付けかたをすると強度が保てず、落下したり破損してけがの原因となることがあります。

プラズマディスプレイへの取り付けかた

(組み立てにはプラス⊕ねじ回しが必要です。あらかじめご用意ください。)

1. スポンジを貼り付ける

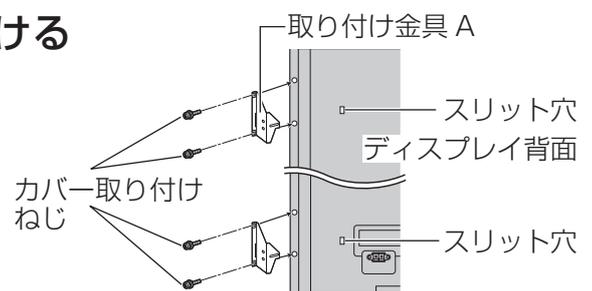
- ディスプレイと接する面にスポンジを貼ります。
- スポンジを貼る前に表面のほこりなどを柔らかい乾いた布でふきとってください。
- スポンジはスピーカーのリブに合わせて貼り付けてください。



2. ディスプレイに取り付け金具 A を取り付ける

(左: 2カ所、右: 2カ所)

- カバーの取り付けねじを外します。(上部: 2本、下部: 2本)
- 取り付け金具 A の爪をディスプレイ背面のスリット穴に差し込み、外したカバー取り付けねじ(2本)で固定します。

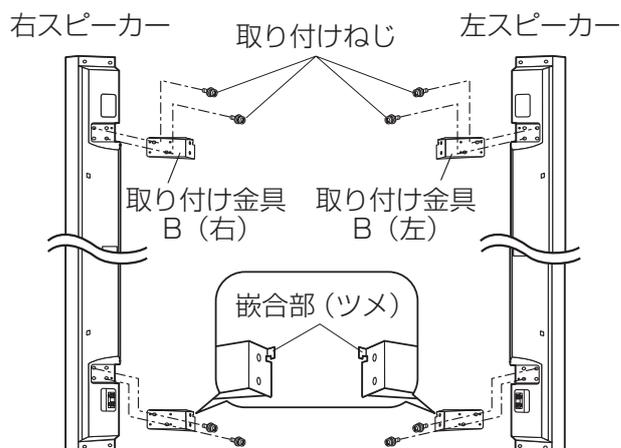


3. スピーカーに取り付け金具 B を取り付ける

(左スピーカー：2カ所、
右スピーカー：2カ所)

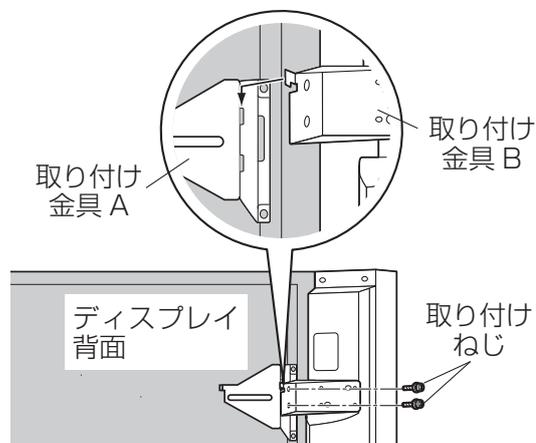
お願い

- 嵌合部 (ツメ) を上にして、取り付けてください。
- 左と右の取り付け金具は異なりますので、取り付けるときはご注意ください。



4. 取り付け金具 A と取り付け金具 B を固定する

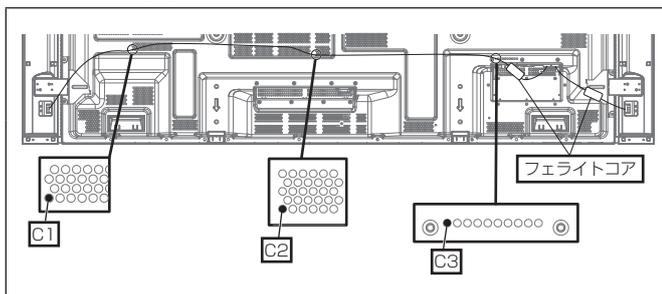
- 取り付け金具 A (ディスプレイ側) に取り付け金具 B のツメをひっかけ、取り付けねじ (2本) で固定します。
- 取り付け金具 A と B を固定するとき、スピーカーとディスプレイの高さを調整します。



5. スピーカーコードをつなぐ (赤は⊕、黒は⊖)

TH-65PF50 シリーズ以降

1. コードを処理する



- ① クランパー (付属) を取り付ける
・クランパー (黒色) を図示した放熱孔に取り付ける (3カ所) …C1、C2、C3

- ② スピーカーコード (付属) をクランパーに取り付ける
右スピーカーコードの処理
1. C1 ~ C3 にコードを通す

スピーカーコードを通した後、クランパーはロックしてください。

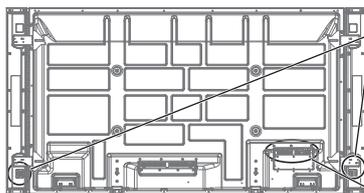


2. スピーカーコードを接続する

先端を処理する

→ よじりながら抜く

- 先端の処理をしてから、赤は赤色の端子、黒は黒色の端子に接続します。
- スピーカーコードを接続するときは芯線部がショートしないようにしてください。



1. レバーを押しながら
2. コードを差し込み
3. レバーをはなす

1. レバーを押し下げて
2. コードを差し込み
3. レバーを戻す

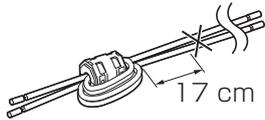
TH-65PF1 1/12/20/30 シリーズ

1. コードを切断する

TH-65PF20、TH-65PF30 シリーズのみ

※長いコードのみ切断

①スピーカーコード（付属）を切る



コードの長い側を
フェライトコアから
17 cm で切断します。

②スピーカーコード先端の被覆を切る

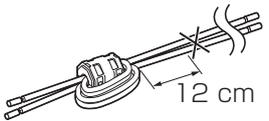


コード先端の赤と黒を約 4.5 cm 裂き、
先端から約 1 cm で被覆を切ります。
芯線を切らないようにしてください。

TH-65PF11、TH-65PF12 シリーズのみ

※2本とも切断

①スピーカーコード（付属）を切る



コードの長い側を
フェライトコアから
12 cm で切断します。

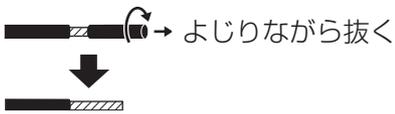
②スピーカーコード先端の被覆を切る



コード先端の赤と黒を約 4.5 cm 裂き、
先端から約 1 cm で被覆を切ります。
芯線を切らないようにしてください。

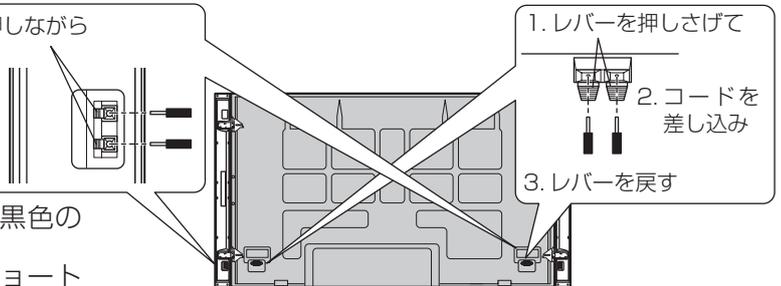
2. スピーカーコードを接続する

先端処理のしかた



- 先端の処理をしてから、赤は赤色の端子、黒は黒色の端子に接続します。
- スピーカーコードを接続するときは芯線部がショートしないようご注意ください。

1. レバーを押しながら
2. コードを差し込み
3. レバーを離す



1. レバーを押し上げて
2. コードを差し込み
3. レバーを戻す

使用上のお願い

- スピーカーの許容入力を超えるような大音量が入ってきたときは、故障を防ぐためにプラズマディスプレイの音量を絞ってください。スピーカーに異常が生じた場合は、プラズマディスプレイなどの電源コードを抜いて専門のサービスマンにご相談ください。
- スピーカーを次のような場所に置かないでください。
 - ・直射日光の当たるところ。
 - ・湿度の高いところ。
 - ・暖房器具や、その他熱を発生するものの近く。
- 本機は防磁型スピーカーを使用していますが、簡易方式ですのでブラウン管テレビの近くには置かないでください。画面に色むらが出る場合があります。
- お手入れのときは、柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
 - ・アルコールやシンナーは使わないでください。
 - ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのもと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このスピーカーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
 - 技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
 - 部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。
 - 出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

仕様

品番	TY-SP65P11K/TY-SP65P11S
種類	プラズマディスプレイ用スピーカー
スピーカー（左右同一）	ミッドレンジ 5.7 cm × 12.6 cm だ円形 2 コ、ツイーター 5.2 cm 丸型 1 コ
インピーダンス	8 Ω
定格入力	10 W
外形寸法	幅 11.1 cm × 高さ 92.5 cm × 奥行 9.0 cm
質量（1 本当り）	2.2 kg
キャビネット材質	樹脂

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

☎ 大阪 (06) 6905-5574

© Panasonic Corporation 2008

M0608-3072